



ウトナイの子

【教育目標】 夢をいだき 未来を拓くたくましい ウトナイの子の育成

令和2年9月30日

第6号

Tel 57-6700

Fax 57-6715



月を眺める心のゆとりを

校長 丹野 靖彦

コロナウイルス感染予防により学校も新しい生活様式を進めており、各種行事も縮小や中止を余儀なくされております。しかし、本校では感染予防対策を進め、新しい学校生活様式に変わっていく中でも、子どもたちが関わり支え合い学び合う学校の良さを継続しようと考えています。こうしたときこそ知恵を出し合い学校生活をより良くしていく必要があると思っています。

さて、10月1日は、中秋の名月です。最近では、スーパームーン（今年は4月8日でした）など英語での月の呼び方がよく聞かれますが、日本には多くの月の呼び方があり、一番きれいで様々な風習があるのが中秋の名月です。地域により風習に差はありますが、秋の実りの時期に合わせて、豊穰を願い、実りに感謝するといった風習が多いようです。南北に長い日本で、同じ時期に似た風習があるというのは、日本人が季節感を大切にしてきたことや、農業を中心とした生活において月の満ち欠けは大切であったことにも関連するとも言われています。ただ、とても素敵だなあと感じるのは、日本各地で静かで秋冷えする夜空に映える月を見上げて眺めている人が大勢いるということです。

感染症などが流行すると心が暗くなりがちで下を向いて生活しがちです。心の作用として、上を向くと気持ちが少し明るくなるという説もあります。家族で夜空の月を見上げてみる、もしかすると遠くの親戚も、近くの友だちも見上げているかもしれません。月を眺めることでぼんやりと気持ちがつながる、そんな心のゆとりが新しい生活様式の毎日には必要なのかもしれません。是非、お子さんと眺めてみてはいかがでしょうか。

学校では、4年生以上が対象ではありますが、10月22日に本校展望台を使用した月の観察会を行います。科学センターの職員の方を招いて月を眺め、月について学びます。興味のある方はお申し込みください。

今月の月の豆知識 10月1日は中秋の名月で満月ですが、10月は満月が今年唯一2回ある月なのです。2回目の満月はブルームーンというそうです。10月31日が2回目の満月の日です。ちなみにこの日は、マイクロムーンといって一年で一番月が小さく見える日でもあるそうです。

秋は、夜も長くなります。家族で月を眺めた後は、是非家族で読書などもしてみてください。読書の秋ともいいますが、月にまつわる絵本や物語も多数あります。学校図書館や苫小牧市中央図書館等で借りて読んでみてください。月を眺め、読書をし、心を豊かに新しい生活様式を乗り切っていきましょう。

お子さんの送迎時は、校舎側に駐停車してください！

川側への駐停車は、危険です！